

菅原 幹雄

東京学芸大学附属高等学校

ICTの活用：基調発表を踏まえて

新井 健使

東京学芸大学附属国際中等教育学校

数学的リテラシーを育む授業の設計に関する一考察

：「極限と微分積分の考え」に焦点を当てて

小林 廉

東京学芸大学附属国際中等教育学校

現実事象の探究を通じた数学の学習に関する一考察

：パスカルとフェルマーの往復書簡を題材として

石橋 太加志他 1 名

東京大学教育学部附属中等教育学校

地球温暖化の極氷への影響の検討：南極・北極の海水面積の回帰分析

金森 千春

芝浦工業大学附属中学高等学校

解説動画を作成する問題づくりの授業

三島 直人

昭和第一学園高等学校

関数のグラフの平行移動に関する数学授業実践

：「ウォーキングの問題」を題材にして

榊原 一志

東京女学館中学校高等学校

隣接3項間漸化式の指導法：フィボナッチ数列の活用

古川 慎一郎

東邦大学付属東邦高等学校

数学Ⅳの教材開発と授業実践

茂木 桂樹

日本大学鶴ヶ丘高等学校

AI時代の新しい教育：教師は授業中に生徒の勉強の邪魔をしない

金子 勇治

國學院大學久我山中学校・高等学校

機械学習を用いた生徒データの分析と活用

：『データの分析』の先にあるもの

松嶋 美佐

光塩女子学院

正多面体に迫る：正八面体と仲良しなのは？（ワークショップ）

半田 真

東京女学館中学校・高等学校

データの分析における変数変換の指導に関する研究

：センター試験の出題傾向に対応した統計指導

友利 将吾

武蔵高等学校中学校

1次不等式は高1が妥当な学年なのだろうか？

赤間 祐也

武蔵高等学校中学校

保険数学の確率分野における教材化の研究

杉山 高一他 1 名

中央大学（都数研メンバー）

高校数学における平均と中心極限定理について

：母集団分布がベルヌーイ分布の場合を例にして

8. 部会講演

12 : 50~14 : 10

「集合論的視点に基礎を置く高校数学教育の改革」

椋山女学園大学 浪川幸彦

教師が学ぶべき「現代数学」は何かという問いかけから講演が始まった。過去の「現代化」において犯した過ち、大学受験に特化し過ぎたことなどからの失敗を省みて、ブルバキらの研究による集合論を基礎にして演繹的理論を積み上げる数学教育の重要性が語られた。そして、その例として、高等学校で扱われる個々の単元において、集合論との関わりが示唆された。

9. ポスターセッション・ワークショップ

部会講演、分科会Ⅲと並行して行われた。授業の参考になる様々な教具などが発表された。

10. 課題別分科会 I

16 : 40~17 : 30

東京都高等学校数学教育研究会（都数研）から報告があり、研究部 学習指導法分科会、数学Ⅰ分科会、定通分科会、ICT分科会、大学入試分科会の5分科会と編集部における活動報告が紹介された。例年、二日目の午後からは、参加者が少なくなる傾向にあり、50名程度の参加が想定されていた。しかし、今回の大会では最後まで参加される方が多く100名以上の参加者があった。

8月5日（日）

11. 課題別分科会Ⅱ

9 : 30~11 : 10 東京理科大学 2号館

12. 全体講演

11 : 20~12 : 20

最後に全体講演として、「発見はあなたの心の眼に映る 一封筒に秘められた真実」をテーマに東京理科大学教授 秋山仁 先生にご講演いただいた。会場に入りきれない状態で、うれしい悲鳴であった。

13. 閉会式

12 : 30~13 : 00

閉会式では、沖縄大会への引継が行われ終了した。大会全体で2600名を超える参加があった。この他にもハンズオン作成講座等が行われた。

文責 編集部 坂井田 博史（都砂川高）